
真剣で私に恋しなさい! 板垣家の次男坊

時価ネットたなか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真剣で私に恋しなさい！ 板垣家の次男坊

【Nコード】

N7896Z

【作者名】

時価ネットたなか

【あらすじ】

少年『板垣虎徹』。彼は幼少期、とある理由で親に捨てられて児童養護施設で過ごした。その後なんやかんやあり、本当の兄弟に出会い、無事(?)川神学園へ入学を果たす。

プロローグ「思い出」

「待つてよ！ こてっちゃん！」

昔、俺には可愛い妹のような存在の女の子がいた。

俺は生まれてすぐに赤ちゃんポストに捨てられ、児童養護施設で数年過ごした。

俺は文字通り自由奔放に児童養護施設で伸び伸びと遊んでいた。

そんな俺の後をピツタリくっついて離れない女の子がいた。

泣き虫が印象的な可愛い女の子だ。

俺が山を散策をしようとするれば「ついていていい？」と聞くが、道無き道を突き進むので足手纏あしごまついは要らないので拒否をする。

しかし幾ら拒否してもついて来るので、俺は走ってその女の子を突き放す。

そして俺は夕方に何事もなかったよう帰宅すると、あの女の子がいない。

仕方ないのでその女の子を山に探しに行けば、擦れ違いに女の子は同じ施設で暮らす男の子に背負われながら下山していた。

そんな事を知らない俺は夜通しで山の隅から隅まで探す。

朝になつても見つからないので女の子に悪かったなあ、と下山しますとあら不思議。

警察が山を囲んでいるではありませんか。

どうやら深夜になつても帰ってこない俺を心配して、施設長が警察に通報したんだと。

それ以来俺は今亡き親代わりに引き取られるまで、女の子と一緒に行動する事が多かった。

たまに女の子を背負って下山した男の子も一緒に遊んでいた。
構図としては、自由に突っ走る俺について来ようとする女の子とそ
れをフォローする男子。

今となっては良い思い出だ。女の子の名前は思い出せないけど。

ブログ「思い出」(後書き)

皆様初めまして。 時価ネットたなかでございます。

初投稿ではありますが、それなりの酷評は覚悟しております。

感想なんかくれましたら、嬉しすぎて泣くかもしれません。

気に入ってくれましたら、是非とも良かった点と悪かった点を書いてください。そうして頂けると助かります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7896z/>

真剣で私に恋しなさい! 板垣家の次男坊

2011年12月25日13時48分発行